

スーパーマーケット販売統計調査資料

2016年6月実績 速報版(パネル270)

5月実績 確報版(パネル270)

(2016年7月21日公表)

調査資料概要

【パネル270社集計】

食品を中心に扱うスーパーマーケットを対象に同一企業を集計

※2016年4月実績よりパネル対象企業変更(275社→270社)

【集計項目】

商品分類別・エリア別・保有店舗別集計

集計企業数、総店舗数、総売場面積、店舗平均月商、売場1m²あたり売上高

【速報版・確報版】

速報版:毎月21日前後に前月販売実績を速報値として公表

確報版:速報値に精度の高い集計を行い確報値として公表

【全店・既存店】

全店:前年同月全営業店舗と当月全営業店舗の比較

既存店:前年同月、当月共に営業の店舗による比較

【商品分類】

総売上高	食品合計	生鮮3部門	青果	野菜類、果実類、花
			水産	魚介類、塩干物
			畜産	食肉類、肉加工品
		惣菜	惣菜、折詰料理、揚物、弁当、おにぎり、寿司、インスタアベーカーリー、ファーストフード	
	日配	豆腐、こんにゃく、納豆、練製品、佃煮、漬物、パン、卵、乳製品、生菓子、冷凍食品、アイスクリーム		
	一般食品	調味料、瓶缶詰、乾物、米、小麦粉、乾麺、嗜好品、菓子、酒類		
	非食品	日用雑貨品、医薬・化粧品、家具インテリア、家電製品、婦人衣料、紳士衣料、文具、玩具		
その他	テナント売上高、タバコ・ギフト販売、その他取次業(DPE、クリーニング、宅配便、レンタル、チケット販売等)			

【地方分類】

北海道・東北地方	北海道、青森、岩手、秋田、宮城、山形、福島
関東地方	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川
中部地方	新潟、富山、石川、福井、山梨、長野、岐阜、静岡、愛知
近畿地方	三重、滋賀、奈良、和歌山、京都、大阪、兵庫
中国・四国地方	岡山、広島、鳥取、島根、山口、香川、徳島、愛媛、高知
九州・沖縄地方	福岡、佐賀、長崎、大分、熊本、宮崎、鹿児島、沖縄

※2014年4月実績よりエリア区分を8地方区分による6地方に変更

一般社団法人 日本スーパーマーケット協会

オール日本スーパーマーケット協会

一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット販売統計調査に関するお問い合わせ

tokei@super.or.jp

2016年7月21日

一般社団法人 日本スーパーマーケット協会
 オール日本スーパーマーケット協会
 一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット販売統計調査
 2016年6月実績 速報版 (新パネル270)

	全店売上高 (万円)	構成比	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
総売上高	86,039,642	100.0%	102.6%	100.5%
食品合計	76,633,844	89.1%	102.9%	100.7%
生鮮3部門合計	28,951,589	33.6%	102.1%	99.8%
青果	12,204,860	14.2%	102.7%	100.4%
水産	7,484,455	8.7%	101.5%	99.2%
畜産	9,262,274	10.8%	101.9%	99.6%
惣菜	8,214,151	9.5%	103.8%	101.3%
日配	16,646,839	19.3%	103.8%	101.6%
一般食品	22,821,264	26.5%	103.0%	101.1%
非食品	6,931,602	8.1%	100.3%	100.0%
その他	2,474,246	2.9%	96.1%	96.4%

地方分類別集計

エリア	全店売上高 (万円)	集計対象企業数	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
北海道・東北地方	11,920,408	43	101.0%	100.5%
関東地方	31,553,633	73	102.9%	100.9%
中部地方	10,549,145	53	104.0%	99.7%
近畿地方	18,996,887	44	101.3%	100.3%
中国・四国地方	8,575,599	34	103.4%	100.1%
九州・沖縄地方	4,443,970	23	102.7%	101.9%

保有店舗数別集計

保有店舗数	全店売上高 (万円)	集計対象企業数	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
1~3店舗	765,750	47	99.2%	99.3%
4~10店舗	3,780,281	70	99.4%	99.6%
11~25店舗	9,856,861	64	100.5%	99.9%
26~50店舗	16,119,470	46	102.1%	100.2%
51店舗以上	55,517,281	43	103.3%	100.9%

集計企業数 (社)	270	既存店総売上高 (万円)	83,480,347
総店舗数 (店舗)	7,683	店舗平均月商 (万円)	11,199
総売場面積 (㎡)	12,663,765	売場1㎡あたり売上高 (万円)	6.8

※売上高は税抜金額

※売上高は千円以下、構成比・前年同月比は小数点第2位以下四捨五入

2016年7月21日

一般社団法人 日本スーパーマーケット協会
 オール日本スーパーマーケット協会
 一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット販売統計調査
 2016年5月実績 確報版 (新パネル270)

	全店売上高 (万円)	構成比	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
総売上高	89,137,222	100.0%	101.8%	99.7%
食品合計	79,808,048	89.5%	102.3%	99.9%
生鮮3部門合計	30,551,352	34.3%	101.3%	98.7%
青果	12,674,675	14.2%	100.4%	97.9%
水産	7,908,326	8.9%	101.1%	98.6%
畜産	9,968,351	11.2%	102.7%	100.0%
惣菜	8,651,371	9.7%	102.8%	100.1%
日配	17,294,071	19.4%	103.3%	100.8%
一般食品	23,311,254	26.2%	102.9%	100.7%
非食品	6,756,870	7.6%	99.6%	99.1%
その他	2,572,352	2.9%	94.6%	94.7%

地方分類別集計

エリア	全店売上高 (万円)	集計対象企業数	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
北海道・東北地方	12,473,398	43	100.2%	100.1%
関東地方	32,799,796	73	102.1%	99.8%
中部地方	11,145,119	53	103.0%	98.7%
近畿地方	19,084,971	44	100.4%	99.3%
中国・四国地方	9,031,247	34	103.0%	99.6%
九州・沖縄地方	4,602,691	23	104.4%	102.5%

保有店舗数別集計

保有店舗数	全店売上高 (万円)	集計対象企業数	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
1~3店舗	803,681	47	98.3%	97.6%
4~10店舗	3,984,394	70	99.4%	98.6%
11~25店舗	10,298,995	64	100.9%	99.7%
26~50店舗	16,838,541	46	100.6%	98.7%
51店舗以上	57,211,611	43	102.5%	100.2%

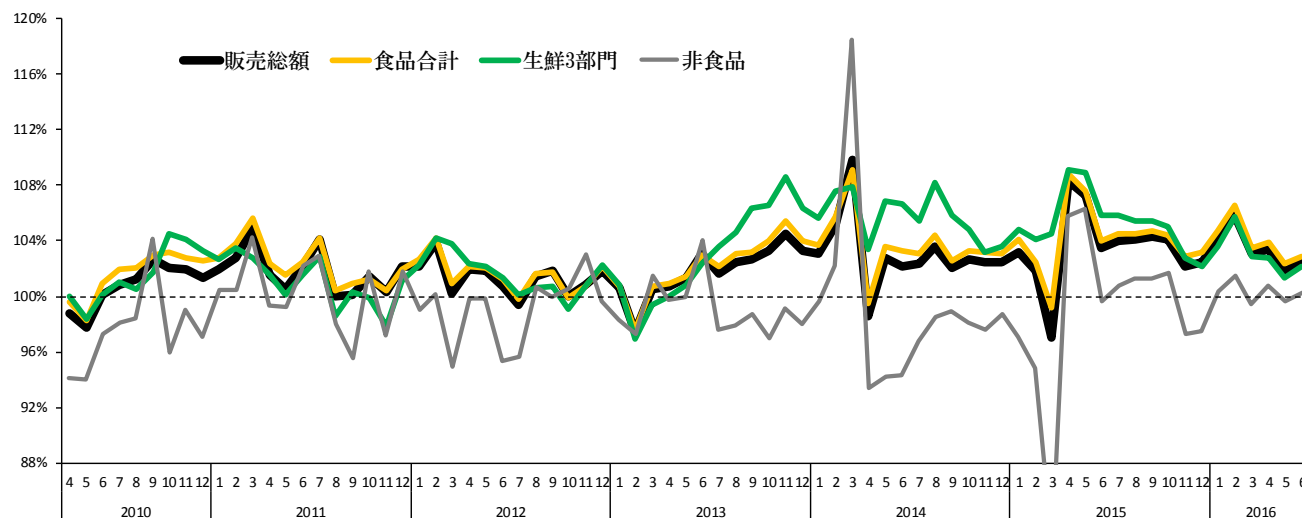
集計企業数 (社)	270	既存店総売上高 (万円)	86,442,934
総店舗数 (店舗)	7,693	店舗平均月商 (万円)	11,587
総売場面積 (㎡)	12,667,399	売場1㎡あたり売上高 (万円)	7.0

※売上高は税抜金額

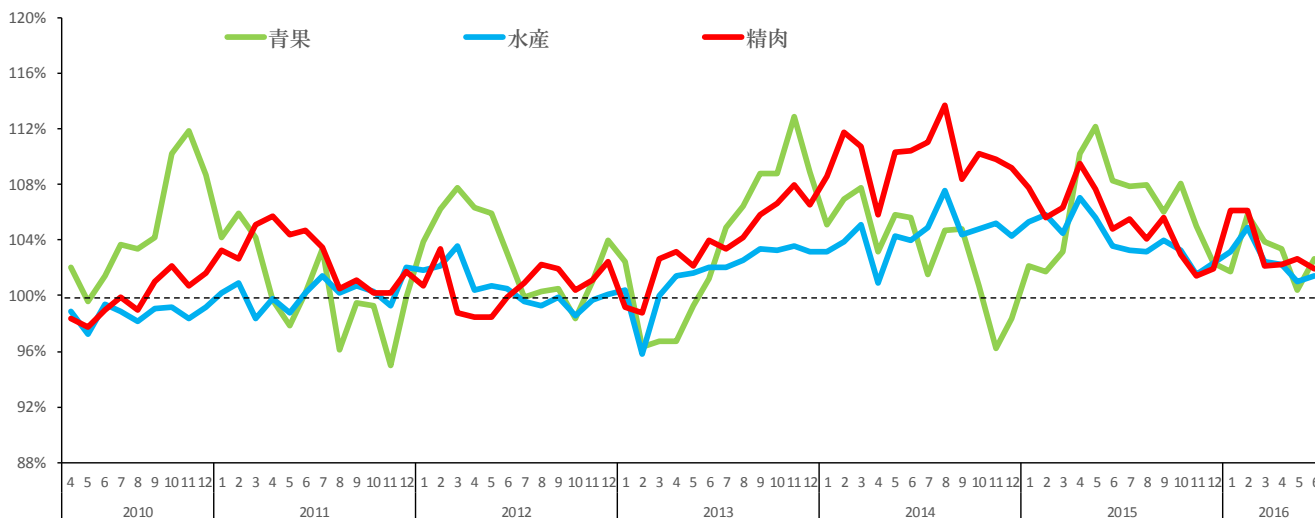
※売上高は千円以下、構成比・前年同月比は小数点第2位以下四捨五入

スーパーマーケット販売統計推移 2010年4月～2016年6月(前年同月比/全店ベース)

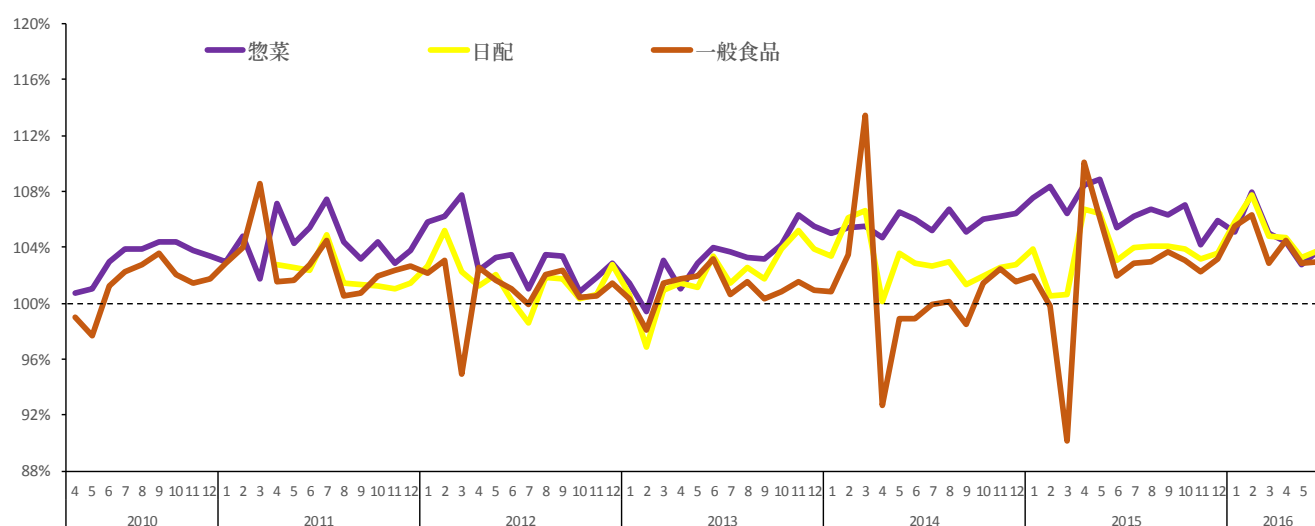
販売総額・食品合計・生鮮3部門・非食品



青果・水産・畜産



惣菜・日配・一般食品



※2010年4月～2016年5月までは確報版による前年同月比、2016年6月は速報版による前年同月比
 ※2011年3月までは、「一般食品」に「日配」、「非食品」に「その他」を含む

2016年6月エリア別気候状況

1. 平均気温：沖縄・奄美では気温はかなり高かった

上旬：沖縄・奄美でやや高かった他はほぼ平年並み

中旬：東・西日本、沖縄・奄美ではかなり高く、北日本では高かった

下旬：沖沖縄・奄美でやや高かった他はほぼ平年並み

2015年6月との比較：中旬は北海道地方を除いてやや高くなった他はほぼ平年並み

	平年との比較 (°C)						今年と前年との差 (°C)		
	2016年6月			2015年6月 (前年)			上旬	中旬	下旬
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬			
北海道地方	-0.8	-0.1	0.3	0.4	1.1	-1.3	-1.2	-1.2	1.6
東北地方	0.4	1.6	0.5	0.7	1.7	0.3	-0.3	-0.1	0.2
関東甲信地方	0.3	1.7	0.5	0.2	0.7	0.2	0.1	1.0	0.3
北陸地方	0.1	2.5	0.4	0.1	1.7	-0.3	0.0	0.8	0.7
東海地方	-0.1	1.2	0.1	-0.5	0.0	-0.9	0.4	1.2	1.0
近畿地方	-0.3	1.3	-0.1	-0.7	0.2	-0.5	0.4	1.1	0.4
中国地方	0.0	1.6	0.1	-0.6	0.4	-0.7	0.6	1.2	0.8
四国地方	-0.1	1.3	0.0	-0.5	-0.6	-0.8	0.4	1.9	0.8
九州北部	0.2	1.5	-0.4	-0.5	-0.5	-1.0	0.7	2.0	0.6
九州南部・奄美地方	0.5	1.4	0.3	0.4	-0.3	-1.7	0.1	1.7	2.0

平年差



前年差



2. 日照時間：北日本日本海側では日照時間は少なかった

上旬：北日本日本海側では少なかった。一方、北日本太平洋側、東日本、沖縄・奄美では多かった

中旬：北日本、西日本太平洋側では少なかった。一方、沖縄・奄美では多かった。

下旬：西日本では少なかった。一方、北・東日本日本海側、沖縄・奄美では多かった

2015年6月との比較：上旬から中旬は全国的にやや多く、下旬は少ない地域が多かった

	日照時間 平年比 (%)						今年と前年との差 (%)		
	2016年6月			2015年6月 (前年)			上旬	中旬	下旬
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬			
北海道地方	123	51	121	81	128	45	42	-77	76
東北地方	112	87	91	114	111	107	-2	-24	-16
関東甲信地方	117	120	85	99	84	152	18	36	-67
北陸地方	122	110	107	97	107	147	25	3	-40
東海地方	112	95	89	79	65	126	33	30	-37
近畿地方	107	84	76	80	69	125	27	15	-49
中国地方	91	87	80	88	71	131	3	16	-51
四国地方	89	80	77	72	47	95	17	33	-18
九州北部	88	85	52	73	46	103	15	39	-51
九州南部・奄美地方	106	86	80	70	59	47	36	27	33

平年差



前年差



3. 降水量：西日本太平洋側では降水量はかなり多かった

上旬：北日本では多かった。一方、東日本太平洋側ではかなり少なく、東日本日本海側では少なかった

中旬：北日本ではかなり多く、西日本では多かった

下旬：西日本太平洋側ではかなり多く、北・東日本太平洋側、西日本日本海側では多かった

2015年6月との比較：上旬は全国的にかなり少なく、中旬以降は九州南部を除いてやや多かった

	降水量 平年比 (%)						今年と前年との差 (%)		
	2016年6月			2015年6月 (前年)			上旬	中旬	下旬
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬			
北海道地方	204	384	138	252	21	147	-48	363	-9
東北地方	69	138	95	101	46	138	-32	92	-43
関東甲信地方	33	113	94	268	98	59	-235	15	35
北陸地方	22	80	92	146	42	46	-124	38	46
東海地方	32	89	169	237	58	80	-205	31	89
近畿地方	74	132	167	205	76	65	-131	56	102
中国地方	202	161	146	184	59	89	18	102	57
四国地方	128	174	205	279	144	50	-151	30	155
九州北部	73	177	171	299	120	57	-226	57	114
九州南部・奄美地方	50	154	148	269	210	238	-219	-56	-90

平年差



前年差



気象庁ホームページ・報道発表資料「6月の気候」参照

平年値は過去30年(1981年~2010年)の平均

スーパーマーケット統計事務局作成

スーパーマーケット景気動向調査

2016年7月調査結果（6月実績）
（2016年7月21日公表）

スーパーマーケット中核店舗を対象として経営動向や景気判断を調査し、月次でスーパーマーケット経営を取り巻く内外の環境変化を定量的に明らかにすることを目的としています。またスーパーマーケット販売統計調査における売上変動の要因やカテゴリー別好不調要因を補足する役割を果たすことも期待しています。

【経営動向調査】

1. 経営状況：「売上」「収益」「生鮮品仕入原価」「食品仕入原価」「販売価格」「客単価」「来客数」
スーパーマーケット中核店舗における各経営状況について

- ・前年同月と比較し「かなり増加」から「かなり減少」までの5段階で評価
- ・前年同月を100とした当月の値を調査 ※2014年4月実績より

2. カテゴリー動向：「青果」「水産」「畜産」「惣菜」「日配」「一般食品」「非食品」
スーパーマーケット中核店舗における各カテゴリーに販売動向について、

- ・前年同月と比較し「かなり好調」から「かなり不調」までの5段階で評価
- ・各カテゴリーの好不調要因についてのコメント

経営動向調査DI (Diffusion Index) の算出方法

回答構成比 (%) に以下の点数を乗じてDIを算出

かなり改善+0.5・やや改善+0.25・変わらない±0・やや悪化-0.25・かなり悪化-0.5

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「0」

【景況感調査】

1. 景況感：「景気状況」「消費者購買意欲」「店舗周辺の競合状況」「店舗周辺地域の景気」について、

- ・2～3ヵ月前と比較した現状について「かなり改善」から「かなり悪化」まで5段階で評価
- ・今後2～3ヵ月の見通しについて「かなり改善」から「かなり悪化」までの5段階で評価

景況感DI (Diffusion Index) の算出方法

回答構成比 (%) に以下の点数を乗じてDIを算出

かなり改善+1.0・やや改善+0.75・変わらない+0.5・やや悪化+0.25・かなり悪化+0

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「50」

一般社団法人 日本スーパーマーケット協会
オール日本スーパーマーケット協会
一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

7月調査（6月実績）結果概況

景気判断DI 現状判断は横ばいも、見通し判断は弱含みな傾向が続く

6月のスーパーマーケット中核店舗における景気判断DI 現状判断は前月から+0.2の43.9と横ばいとなったものの、見通し判断は前月から-0.6の42.1と小幅に悪化した。

経営動向調査は、売上高DIが-5.2（前月比+3.9）とやや持ち直したものの、収益DIは-6.3（前月比-1.3）と低下している。来客数DIが低迷していることに加え、仕入原価の落ち着きにより、販売価格DIが1.5と伸び悩んでいることが影響している。

カテゴリー動向結果では、果物類が好調であった青果DIが-2.5（前月比+10.7）と持ち直しをみせ、取組みを強化している惣菜DIが3.1とプラスに回復している。畜産DIや水産DIは前月とほぼ同水準であるが、高い平均気温の恩恵により日配DIや一般食品DIは小幅に上昇している。（カテゴリー動向については最終ページに詳細を掲載）

景況感調査は、総じて前月から横ばいの推移となっているが、見通し判断DIでは弱含みの動向が続いている。長期トレンドでも、現状判断、見通し判断共に下降傾向の継続が示唆されている。（周辺地域景気動向DI 長期傾向参照）

今月も来客数の低迷が続くなか、仕入原価や販売価格の下降傾向が続く状況に大きな変化はみられていない。価格上昇による売上増の好循環が影をひそめており、加えて消費の低迷による価格競争の厳しさを指摘する声もみられるようになってきた。今後、客単価の低下傾向にどのように歯止めをかけていけるか、今後の動向が注目される。

景況感調査

現状判断

景気判断DI

当月：43.9 (+0.2)
前月：43.7

消費者購買意欲DI

当月：45.4 (+0.9)
前月：44.5

周辺地域 競合状況DI

当月：42.9 (+1.6)
前月：41.3

店舗周辺地域 景気判断DI

当月：45.4 (-0.5)
前月：45.9

見通し判断

景気判断DI

当月：42.1 (-0.6)
前月：42.7

消費者購買意欲DI

当月：43.7 (-0.3)
前月：44.0

周辺地域 競合状況DI

当月：40.1 (+0.3)
前月：39.8

店舗周辺地域 景気判断DI

当月：45.4 (+0.1)
前月：45.3

経営動向調査 経営状況

売上高DI

当月：-5.2 (+3.9)
前月：-9.1

客単価DI

当月：3.9 (-0.7)
前月：4.6

来客数DI

当月：-11.3 (+0.5)
前月：-11.8

収益DI

当月：-6.3 (-1.3)
前月：-5.0

販売価格DI

当月：1.5 (+0.3)
前月：1.2

生鮮品仕入原価DI

当月：4.9 (+0.7)
前月：4.2

食品仕入原価DI

当月：2.7 (-2.1)
前月：4.8

カテゴリー動向

青果DI

当月：-2.5 (+10.7)
前月：-13.2

水産DI

当月：-6.4 (+0.5)
前月：-6.9

畜産DI

当月：-6.9 (-0.9)
前月：-6.0

惣菜DI

当月：3.1 (+4.7)
前月：-1.6

日配DI

当月：1.4 (+2.3)
前月：-0.9

一般食品DI

当月：-1.4 (+2.5)
前月：-3.9

非食品DI

当月：-5.9 (-0.3)
前月：-5.6

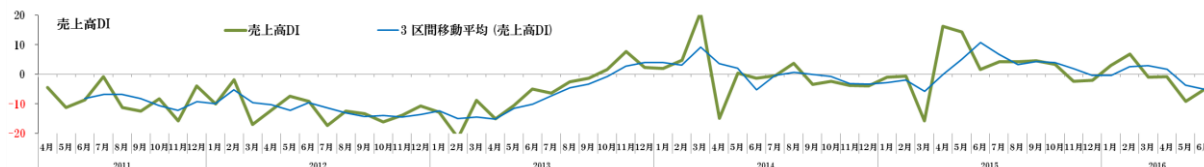
○ 内は前月DIとの増減、赤字はマイナス

7月調査（6月実績）結果詳細 I. 経営動向調査（2011年4月～）

1. 売上高DI

やや持ち直しをみせるも2ヵ月連続のマイナス

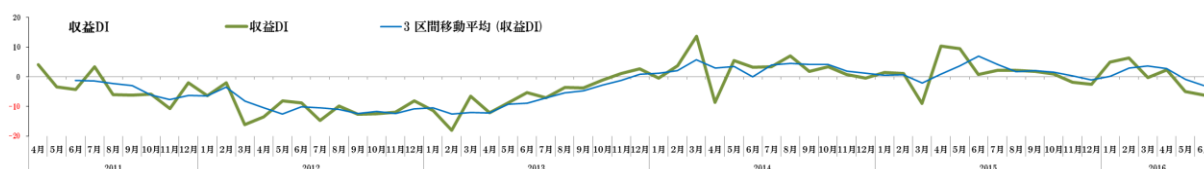
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
売上高 (前月)	5.4	45.8	29.6	18.2	1.0	-9.1
売上高 (当月)	4.7	33.5	40.8	19.9	1.0	-5.2



2. 収益DI

やや悪化し2ヵ月連続のマイナス

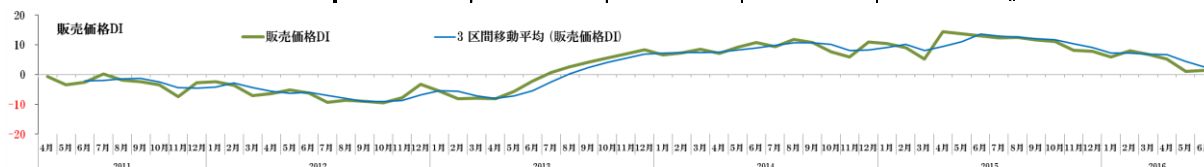
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
収益 (前月)	7.5	32.2	36.2	21.1	3.0	-5.0
収益 (当月)	8.1	31.7	38.7	20.4	1.1	-6.3



3. 販売価格DI

わずかなプラスを維持も、下降傾向が継続

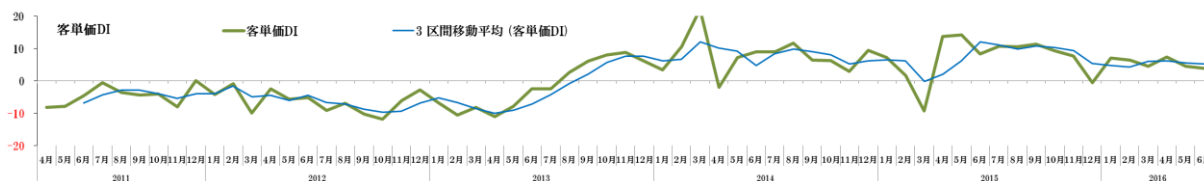
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
販売価格 (前月)	0.5	14.4	64.7	20.4	0.0	1.2
販売価格 (当月)	0.0	13.8	66.7	19.6	0.0	1.5



4. 客単価DI

プラスを維持も、下降傾向が継続

回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
客単価 (前月)	0.0	17.4	46.8	35.8	0.0	4.6
客単価 (当月)	0.0	14.2	55.8	30.0	0.0	3.9



5. 来客数 DI

2 カ月連続で二桁マイナスを記録し、引き続き弱含みな状況が続く

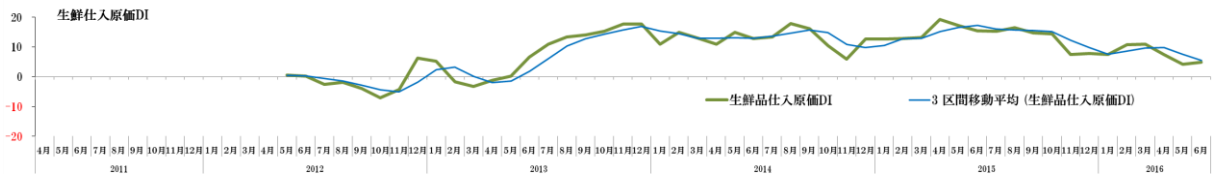
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
来客数 (前月)	5.9	49.3	31.5	12.8	0.5	-11.8
来客数 (当月)	5.8	45.3	37.9	10.5	0.5	-11.3



6. 生鮮仕入原価 DI

わずかに上昇するも、下降傾向が継続

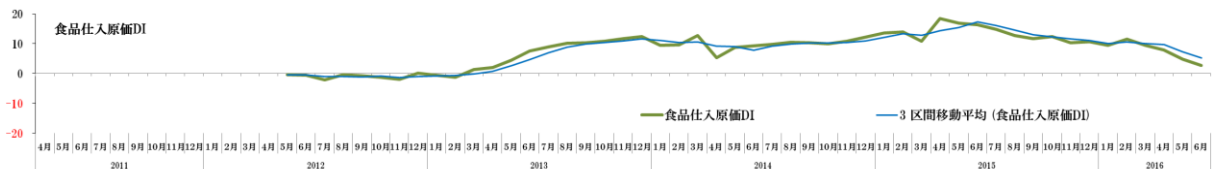
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
生鮮仕入原価 (前月)	1.5	13.2	54.3	28.9	2.0	4.2
生鮮仕入原価 (当月)	0.5	11.9	56.8	29.2	1.6	4.9



7. 食品仕入原価 DI

当月低下し、下降傾向が継続

回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
食品仕入原価 (前月)	1.0	8.1	62.4	27.4	1.0	4.8
食品仕入原価 (当月)	1.1	9.7	67.0	21.6	0.5	2.7

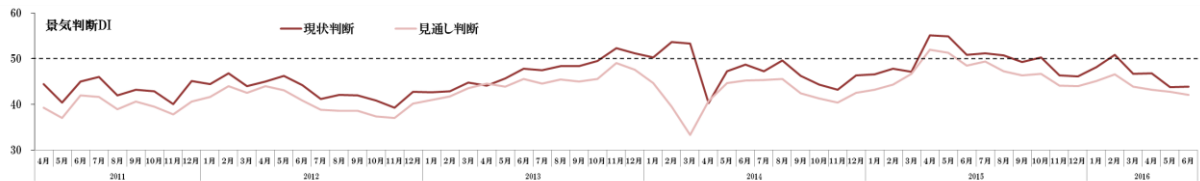


II. 景況感調査 (2011年4月～/周辺地域景況判断のみ 2010年4月～)

1. 中核店舗景況判断 DI

現状判断は横ばい、見通し判断は小幅に悪化し、下降傾向

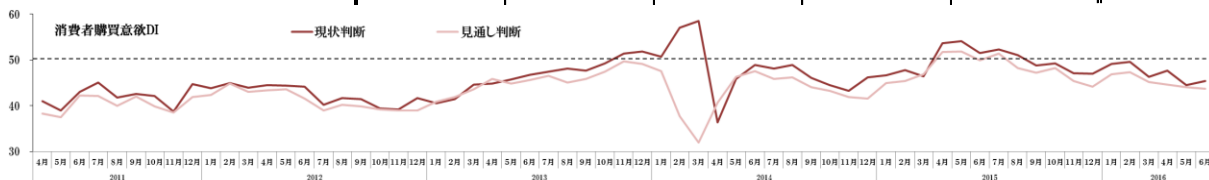
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】景況判断 (前月)	1.5	30.0	60.6	7.9	0.0	43.7
【現状】景況判断 (当月)	1.1	28.9	63.2	6.8	0.0	43.9
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】景況判断 (前月)	3.9	28.6	60.1	7.4	0.0	42.7
【見通し】景況判断 (当月)	2.6	31.6	60.5	5.3	0.0	42.1



2. 消費者購買意欲 DI

現状判断はわずかに改善、見通し判断は小幅に悪化し、下降傾向

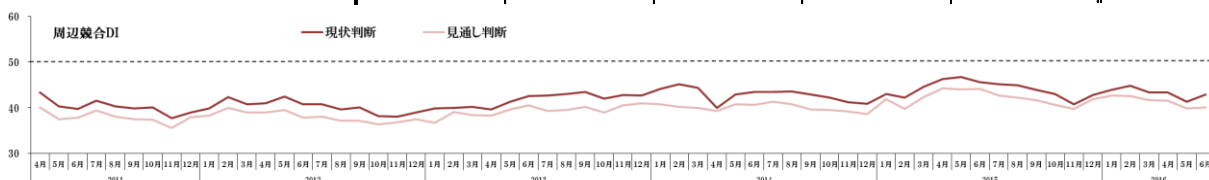
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】購買意欲 (前月)	0.0	27.1	68.0	4.9	0.0	44.5
【現状】購買意欲 (当月)	0.0	24.7	68.9	6.3	0.0	45.4
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】購買意欲 (前月)	0.5	27.5	67.6	4.4	0.0	44.0
【見通し】購買意欲 (当月)	0.0	29.3	66.5	4.2	0.0	43.7



3. 中核店舗周辺競合状況 DI

現状、見通し判断共に小幅に改善も、低位での推移

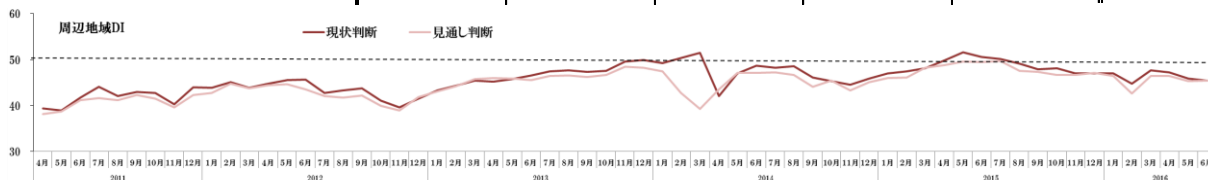
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】競合状況 (前月)	3.0	29.1	68.0	0.0	0.0	41.3
【現状】競合状況 (当月)	1.1	27.9	69.5	1.6	0.0	42.9
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】競合状況 (前月)	5.4	29.9	64.7	0.0	0.0	39.8
【見通し】競合状況 (当月)	3.1	34.6	61.3	1.0	0.0	40.1



4. 中核店舗周辺地域景気判断DI

現状判断はわずかに悪化、見通し判断は横ばいで、下降傾向

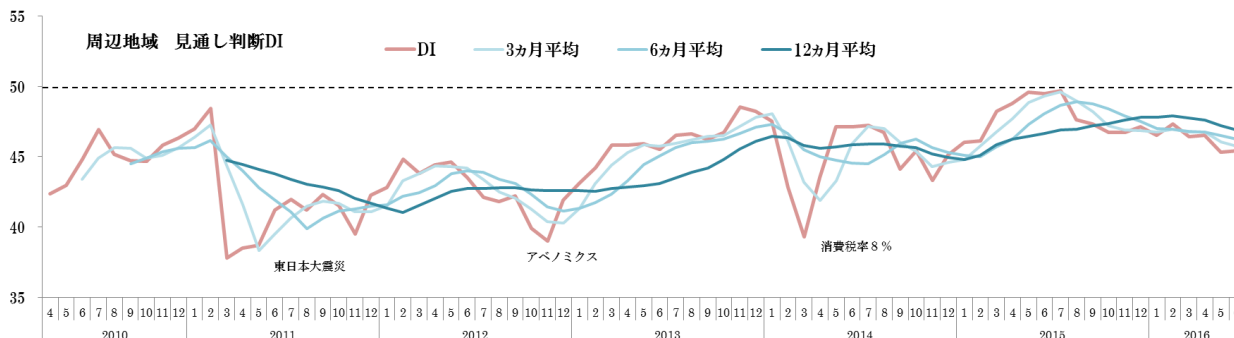
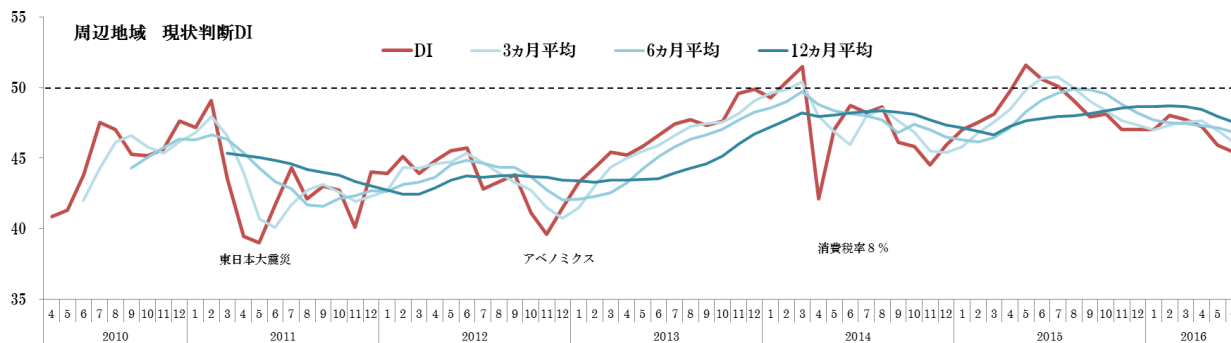
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】地域景気(前月)	0.0	18.9	78.6	2.5	0.0	45.9
【現状】地域景気(当月)	0.0	19.5	79.5	1.1	0.0	45.4
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】地域景気(前月)	0.5	19.9	77.6	2.0	0.0	45.3
【見通し】地域景気(当月)	0.0	18.8	80.6	0.5	0.0	45.4



長期傾向 (2010年4月～)

2012年11月以降上昇を続けていた「中核店舗周辺地域景気判断DI」は、2014年4月の消費税率引き上げの影響を受け下落した。5月に一旦持ち直し、6月～8月まで横ばい推移、9月～11月は再び悪化した。その後、12月以降6ヵ月連続で改善し、2015年5月には調査開始以来の最高水準まで回復をみせた。しかし、6月以降は一転して下落が続き、11月は下落の速度がやや早まった。12月以降はやや持ち直し、底堅く推移していたが、2016年3月と5月も下落をみせ、ダウントレンドが一層鮮明となっている。直近6月は横ばいでの推移となり、一旦下げ止まりを見せている。

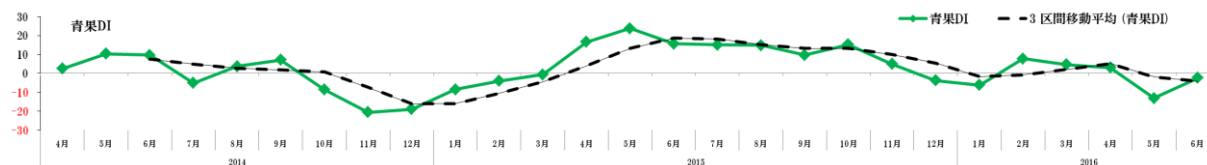
4月に12ヵ月移動平均が、2015年2月以来13ヵ月ぶりにマイナスを記録したが、他の平均線もすべてマイナス推移を続けている。



Ⅲ. カテゴリー別動向

1. 青果DI：-2.5（やや不調）

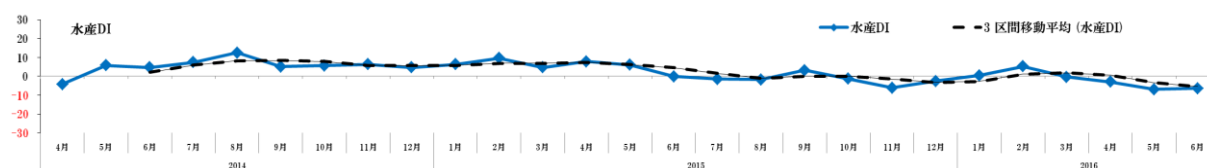
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
青果（前月）	10.4	45.1	33.2	9.8	1.6	-13.2
青果（当月）	3.3	34.3	34.8	24.3	3.3	-2.5



青果相場は全体としては、上旬にかけて安値傾向であったが、下旬は降雨不足や高温により高値で推移したが、品目によってかい離も大きくなっている。特に高値がつづく玉ねぎは不調、気温上昇によりカット野菜は好調となっている。野菜全体としては単価がやや下落傾向にあるなかで、販売数量をどれだけ確保できたかにより、好不調が分かれる結果となった。国産果物では、さくらんぼや桃、すいかなどが好調、バナナは相場高を背景に不調とするコメントが多くみられた。

2. 水産DI：-6.4（やや不調）

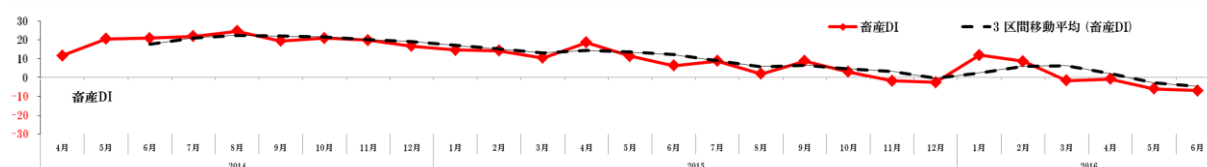
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
水産（前月）	6.7	40.9	30.1	17.6	4.7	-6.9
水産（当月）	6.1	38.7	33.7	17.7	3.9	-6.4



引き続き生魚の入荷不足や相場高が続くなかで、品目により前年との単価比較により好不調がわかる結果となっている。生魚は総じて不調となっており、前年比で高値が続くうなぎも不調とするコメントが多くみられた。父の日に関連した刺身盛り合わせ等は、マグロ等を確保できた店舗とできなかった店舗で好不調に大きな影響がみられた。メディアにて健康食品として取り上げられた海藻類は引き続き好調。

3. 畜産DI：-6.9（やや不調）

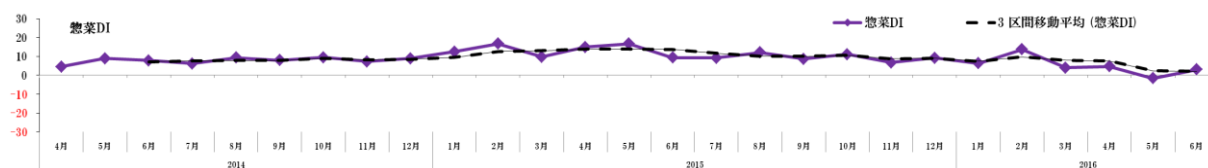
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
畜産（前月）	6.7	32.6	41.5	16.1	3.1	-6.0
畜産（当月）	6.6	37.6	33.7	21.0	1.1	-6.9



焼肉やステーキ商材が好調であり牛肉が好調となっているものの、牛肉の相場高が続いているため、和牛から割安な国産牛や輸入牛に需要のシフトがみられ伸び悩みをみせた。豚や鶏肉も前年に比べ相場が低下しているため単価が低下傾向にあり、価格競争も激しくなり不調とするコメントが多くみられた。

4. 惣菜DI：3.1（やや好調）

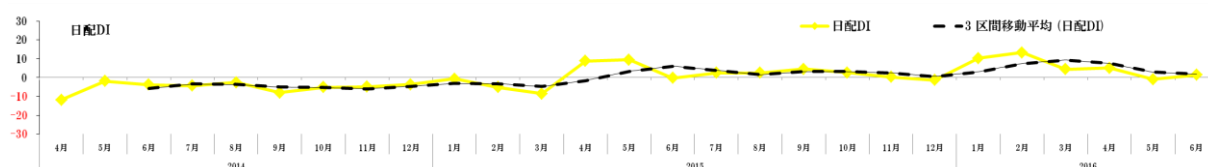
回答構成比（％）	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
惣菜（前月）	5.2	27.7	39.3	23.6	4.2	-1.6
惣菜（当月）	6.1	17.2	39.4	32.8	4.4	3.1



気温の上昇とともに涼味惣菜が好調、米飯類や揚げ物などが不調となっている。売場の拡大や催事の強化、夕方や夜間に対する取り組み、新商品開発が成果をあげている店舗がみられる一方で、競争の激しさを指摘するコメントや人手不足で対応しきれないとのコメントもみられた。夕方の豪雨によりロスが発生した地域もあった。

5. 日配DI：1.4（やや好調）

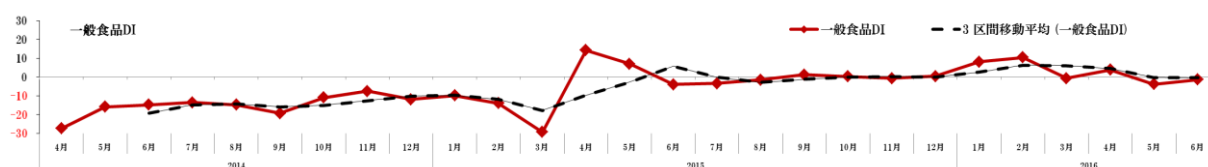
回答構成比（％）	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
日配（前月）	3.1	28.1	40.1	26.6	2.1	-0.9
日配（当月）	3.9	19.3	45.3	30.4	1.1	1.4



総じて気温が高くなった影響で、涼味関連商材（アイスやデザート、麺）などが比較的好調となった。引き続き、機能性ヨーグルトや乳酸菌飲料が好調であり、メディアで取り上げられた梅干しに引き続き特需が発生している店舗もみられた。パンについては好不調分かれる判断になっている。価格競争の厳しいとの指摘もみられる。

6. 一般食品：-1.4（やや不調）

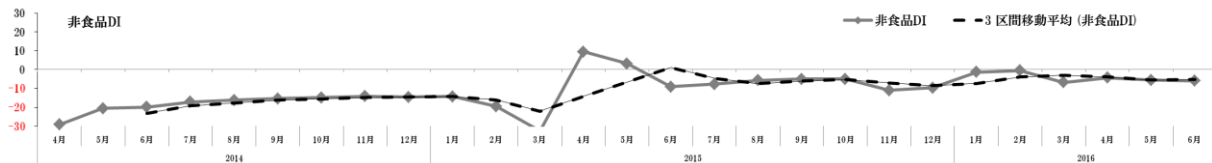
回答構成比（％）	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
一般食品（前月）	4.7	29.2	44.3	20.8	1.0	-3.9
一般食品（当月）	5.0	26.0	39.8	28.2	1.1	-1.4



飲料などの涼味品については好調が多くなっているが、前年との反動で伸び悩みを指摘するコメントもみられる。米については前年に比べ回復傾向となっている。菓子や調味料不振、前年のココナッツオイル特需からの反動がみられている。価格競争の厳しいとの指摘も多い。

7. 非食品 DI：-5.9（やや不調）

回答構成比（％）	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
非食品（前月）	7.4	33.9	37.0	16.9	4.8	-5.6
非食品（当月）	8.5	29.9	42.9	14.1	4.5	-5.9



住宅用洗剤や殺虫剤などの季節商材の一部に動きがよくなっているものが見られるが、ドラッグストアなど他業態との競合で厳しい状況にある。引き続き値上げされたタバコが不調。インバウンド効果からの反動を指摘するコメントもみられた。

カテゴリー別 DI による好不調判断

かなり好調：～ 20 好調：20 ～ 10 やや好調：10 ～ 0
 やや不調：0 ～ -10 不調：-10 ～ -20 かなり不調：-20～

2016年7月調査（6月実績）キーワード TOP3

1. 天候要因（気温高い・豪雨・少雨）
2. 来客数の減少と買い上げ点数減（価格競争激化）
3. プレミアム付き商品券の反動

スーパーマーケット景気動向調査 集計数

6月実績速報版 191社
 5月実績確報版 204社

スーパーマーケット景気動向調査に関するお問い合わせ

スーパーマーケット統計事務局 tokei@super.or.jp